

# 日本土壌微生物学会 2012年度 定期総会資料

2012年6月24日(日)13:05～14:05(予定)

於 神戸大学 C101 講義室

## 総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 2011年度事業報告
  - 1) 大会報告
  - 2) 会誌出版・編集報告
  - 3) 幹事会報告
  - 4) 会計関係報告
  - 5) その他
5. 2012年度事業計画
  - 1) 事業計画案
  - 2) 予算案
  - 3) 地域選出評議員選挙規約改正案
  - 4) 選挙管理委員会設置案
  - 5) 審議・承認
6. 議長解任
7. ポスター賞受賞者発表
8. 次年度大会実行委員長挨拶
9. 閉会の辞

## 2011 年度事業報告

### 1. 大会報告

#### 1-1 2011 年度鳴子大会

東北大震災の影響で当初予定の 6 月から延期し、同年 11 月 25 日(金)～26 日(土)に宮城県大崎市鳴子公民館で、3 機関の後援(大崎市、東北大学複合生態フィールド教育研究センター、東北大学コンポスト科学総合プロジェクト)により開催した。本大会(通算第 57 回)の参加者は、124 名(うち会員 108 名、非会員 16 名)。学会シンポジウムは「有機農業を巡る土壌微生物・小動物」をテーマに、特別講演「コンポストと微生物」、招待講演 3 題、そして一般講演は口頭発表 12 題、ポスター発表 45 題により実施した。最優秀ポスター賞は 2 題、門馬法明・小原裕三「低濃度エタノール処理が土壌の発病抑止性におよぼす影響」と、山本希・大石竜・浅野亮樹・吉井啓貴・小田和賢一・多田千佳・中井裕「遺伝子解析手法を用いた牛ふんコンポスト化過程における古細菌群集の動態解析およびアンモニア酸化古細菌の検出」が、また優秀ポスター賞は 2 題、染谷信孝・諸星知広・池田 宰・土屋健一・池田成志「ジャガイモから分離した蛍光性シュードモナス菌株の多様性」と、前田征之・鍛冶原寛・野津あゆみ・瓦朋子・太田沙由理・古川勇一郎・白鳥豊・中保一浩「青枯病抵抗性台木の高接ぎによるトマト青枯病の発病抑制効果」が選ばれた。

#### 1-2 出前授業

2011 年 11 月 24 日(木)、宮城県大崎市立鳴子中学校と川渡小学校において開催した。鳴子中では東北大南澤究教授が「土壌微生物の役割を見よう(根粒菌と豆科植物の巧みな共生)」と題して、また川渡小では秋田県立大佐藤孝准教授が「私たちの暮らしを支えるミクロな生き物たち」と題して、開催した。その様子はマスコミ(大崎タイムズ 11 月 26 日版)にも取り上げられた。

#### 1-3 震災による開催時期の遅延について

当初 2011 年 6 月 10 日から 12 日まで開催を想定し準備を進めてきたが、同年 3 月の震災の影響により開催を 11 月に延期した。このため、評議員会及び総会についても大会とは切り離して、評議員会はメール会議により、また総会は資料を郵送し、意見を事務局宛メールにて集約することにより開催した。

### 2. 会誌出版・編集報告

土と微生物 投稿状況 (2012 年 5 月 19 日)

	原著論文			総説・解説・シンポジウム	
	受付	受理	審査中	受付	受理
2012	1		1	3	3
2011	6	4	2	7	7
2010	9	7		15	15
2009	5	5		11	11
2008	4	3		7	7
2007	9	8		7	7

### 3. 幹事会報告

#### 3-1 2011 年度第 2 回幹事会

日時:2011 年 11 月 20 日(日)

場所:キャンパス・イノベーションセンター東京

(報告事項)

- ①総務担当幹事から、(1)2011 年 11 月現在の会員状況について、(2)2012 年 1 月からの事務局移転について、(3)震災対応のため評議員会をメール会議により、また総会を資料郵送により開催したことについて、(4)学会 HP を民間ホスティングサービスに移行したことについて報告があった。
- ②会計担当幹事から、2011 年度予算執行状況の説明があった。

- ③編集委員長から、土と微生物誌の編集状況について報告があった。
  - ④2011 年度大会実行委員長から、11 月 25-26 日開催予定の大会開催準備状況について報告があった。
  - ⑤日本農学賞候補の推薦について、日本農学賞候補推薦委員会で検討した結果、候補者を推薦しないこととした。
  - ⑥日本農学会運営委員長から、日本農学会運営委員会について報告があった。
  - ⑦日本学術会議等連絡委員から、日本学術会議関連の報告があった。
- (審議事項)

①相野大会実行委員長から提案された 2012 年度大会の開催要領案について、審議の結果了承した。

### 3-2 2012 年度第 1 回幹事会

日時:2012 年 5 月 19 日(土)

場所:東京八重洲ホール

(報告事項)

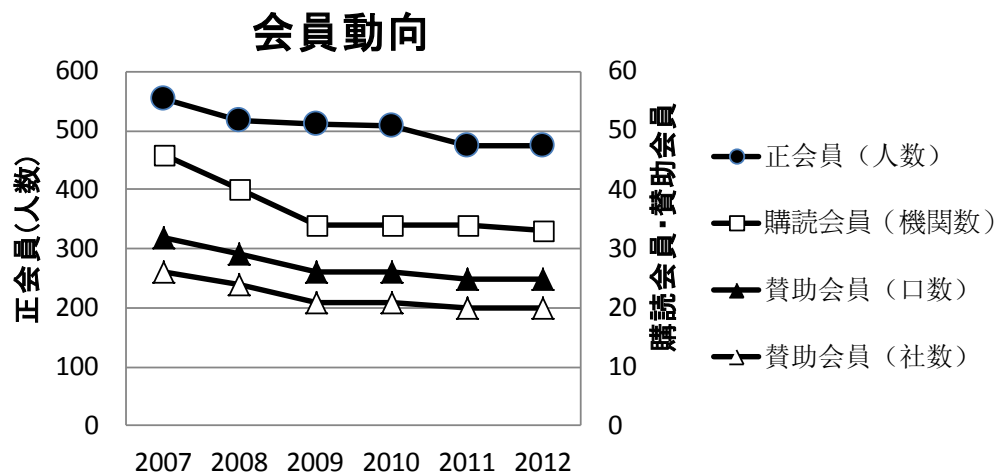
①総務担当幹事から、(1)会員動向、(2)新役員、新事務局体制について報告があった。

(1)会員動向(2012 年 5 月 1 日現在)

正会員数 473人 (昨年11月より-11人、昨年4月から±0人)

購読会員 33機関 36口 (昨年4月から2機関退会、1機関入会)

賛助会員数 20社 25口 (昨年4月から変化なし)



(2)役員・新事務局体制(敬称略)

会 長 齋藤雅典

副会長 相野公孝

評議員 浅川 晋, 有江 力, 太田 寛行, 小川 直人, 小澤 隆司, 景山 幸二, 久我 ゆかり,  
近藤 則夫, 坂本 一憲, 宍戸 雅宏, 信濃 卓郎, 妹尾 啓史, 染谷 孝, 對馬 誠也,  
野口 勝憲, 早津 雅仁, 藤永 真史, 古屋 廣光, 横山 和平, 横山 正

事務局(総務)橋本知義、浦嶋泰文、唐澤敏彦、田澤純子、徳田進一

事務局(会計)長岡一成

事務局(企画)仲川晃生、紀岡雄三、齋藤明広、横山とも子

土と微生物編集委員 豊田剛己(委員長)、浦嶋泰文、近藤則夫、染谷信孝、吉川正巳

M&E誌編集委員 Senior Editors 豊田剛己、早津雅仁

Associate Editors 太田寛行、久我ゆかり、齋藤雅典、境雅夫、宍戸雅宏、信濃卓郎、  
妹尾啓史、西山雅也、古屋廣光、南澤究、村上弘治、村瀬潤

会計監査 門馬法明、柳井洋介

土壌微生物教育委員 相野公孝(委員長)、清水将文、渡邊健史

日本農学賞推薦委員 齋藤雅典(委員長)、雨宮良幹、犬伏和之、土屋健一

日本農学会運営委員 坂本一憲

日本微生物生態学会連絡委員 妹尾啓史

日本学術会議等連絡委員 犬伏和之

任期 会長・副会長・評議員

2011年6月～2013年5月

事務局・編集委員会・会計監査・その他委員 2012年1月～2013年12月

- ②会計報告として、2011年度会計報告及び会計監査の結果について説明があった。
- ③編集委員会報告として、土と微生物誌の投稿状況について報告があった。
- ④2012年度神戸大会準備状況について、相野大会実行委員長から報告があった。
- ⑤日本農学会関連の報告があり、平成25年度日本農学会シンポジウムテーマについて審議の結果、学会としては提案無しとした。
- ⑥日本学術会議関連として、(1)IUSS 次期役員候補の学会推薦、(2)IUSS2014 韓国大会のシンポジウム企画案について報告があった。
- ⑦学会ホームページのお知らせ欄、賛助会員関連情報の更新作業の実施について報告があった。
- ⑧事務局移転に伴い、学会誌バックナンバー等の整理を行ったことを報告した。

#### 4. 会計関係報告

##### ①2011年度会計報告

別紙1参照

##### ②会計監査報告

2012年4月9日、門馬法明、柳井洋介両氏による会計監査が行われ、支出収入に誤りのないことが確認された。別紙2参照

## **2012年度事業計画**

### 1. 2012年度事業計画案について

1-1 2012年度大会(神戸大会)を開催する。

1-2 学会誌「土と微生物」を発行する。

1-3 評議員選挙を行い、次期会長を選出する。

1-4 2013年度(第59回)大会の実行委員会(東京農工大学有江力大会実行委員長)を立ち上げ、開催の準備を行う。

### 2. 2012年度予算案について

別紙3参照

3. 地域選出評議員選挙規約の改正について

3-1 現在のブロック別評議員定数に基づく地域選出評議員の配分にはアンバランスが大きい(表 1)。そこで、地域選出評議員選挙規約第 5 項(別紙 4)に基づき、以下の規約改正を提案する(表 2)。これに伴い、付則を追記する。

3-2 地域選出評議員選挙規約の改正案

地域選出評議員選挙規約
第 1 項から第 4 項 省略
5. 地域選出評議員12名を正会員数に応じて各選出単位地域毎に比例配分する。なお、正会員数が変わった場合には見直す。
北海道東北(北海道, 青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島) 2 名
関東甲信越(茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川, 山梨, 長野, 新潟) 6 名
中部近畿(富山, 石川, 福井, 岐阜, 静岡, 愛知, 三重, 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山) 2 名
中国四国九州(鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口, 徳島, 香川, 愛媛, 高知, 福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄) 2 名
第 6 項から第 9 項省略
付則。
平成 24 年 6 月 24 日一部改正し、同日から施行する。

表1 現在のブロック別評議員定数及びアンバラ値

ブロック名	正会員数	割合(%)	現定数	基準定数	アンバラ値
北海道	37	7.8	1	0.94	0.06
東北	56	11.8	1	1.42	-0.42
南関東甲信越	121	25.5	3	3.06	-0.06
北関東	91	19.2	2	2.30	-0.30
中部	52	11.0	2	1.32	0.68
近畿	37	7.8	1	0.94	0.06
中国四国	36	7.6	1	0.91	0.09
九州	43	9.1	1	1.09	-0.09
海外	1	0.2	0		
合計	474		12		
注)選挙評議員定数(12名)一人あたりの正会員数=				39.5	

表2 改正案に基づくブロックの区分、選挙評議員定数及びアンバラ値

ブロック名	正会員数	割合(%)	改正定数	基準定数	アンバラ値
北海道東北	93	19.6	2	2.35	-0.35
関東甲信越	212	44.7	6	5.37	0.63
中部近畿	89	18.8	2	2.25	-0.25
中国四国九州	79	16.7	2	2.00	0.00
海外	1	0.2	0		
合計	474		12		
注)選挙評議員定数(12名)一人あたりの正会員数=				39.5	

4. 選挙管理委員会の設置について

地域選出評議員選挙規約に基づき、2013 年—2014 年評議員に関わる選挙管理委員会を設置する。

選挙管理委員長 藤井 毅

日本土壤微生物学会 2011年度 会計報告			
(1) 2011年度収入の部			
項 目	予算額	決算額	増減(決算-予算)
前年度繰越金	4,801,232	4,801,232	0
正会員費	2,365,000	2,125,000	-240,000
購読会員費	222,000	204,000	-18,000
賛助会員費	250,000	260,000	10,000
M&E誌代金	150,000	270,000	120,000
雑収入(大会運営費返金等)*	300,000	601,931	301,931
小計(単年度収入分)	3,287,000	3,460,931	173,931
合計(繰越金を含む)	8,088,232	8,262,163	173,931
* 鳴子大会返金475,000円を含む			
(2) 2011年度支出の部			
項 目	予算額	決算額	増減(決算-予算)
会誌刊行費*	1,900,000	2,104,401	204,401
大会運営費	300,000	300,000	0
日本農学会分担金	60,000	56,900	-3,100
学術シンポ等補助	50,000	0	-50,000
M&E誌印刷・発送手数料	250,000	176,267	-73,733
M&E誌共同編集・出版費	200,000	200,000	0
公開シンポジウム・出前授業経費	20,000	10,000	-10,000
事務費			
事務管理費	200,000	39,003	-160,997
旅費交通費	300,000	199,160	-100,840
会議費	5,000	2,424	-2,576
通信郵送費	210,000	121,850	-88,150
文房具費	30,000	8,498	-21,502
諸印刷費	280,000	420,220	140,220
雑費	100,000	49,085	-50,915
小計(事務費)	1,125,000	840,240	-284,760
小計(単年度支出分)	3,905,000	3,687,808	-217,192
予備費(次年度繰越金)	4,183,232	4,574,355	-391,123
合計(予備費を含む)	8,088,232	8,262,163	-173,931
* 第2号を鳴子大会講演要旨集を兼ねるものとし、一頁につき2題を掲載したため、頁数増加。			
(3) 財産目録 (2012年3月31日現在)			
項 目	金 額		
現金	16,027		
郵便振替口座	1,531,000		
郵貯銀行通常貯金	1,977,203		
常陽銀行普通預金	1,050,125		
財産合計	4,574,355		

## 2011年度 会計監査報告

本日、金銭、出納簿、預金通帳および各種領収書について詳細に監査した結果、各帳簿、領収書ともに極めて整然としており、支出収入に誤りのなかったことを報告致します。

日本土壤微生物学会会計監査委員

氏名 門馬 法明 

平成 24 年 4 月 9 日

氏名 柳井 洋介 

平成 24 年 4 月 9 日

日本土壤微生物学会 2012年度 予算案		
(1) 2012年度収入の部		
項 目	予算額	備 考
前年度繰越金	4,574,355	
正会員費	2,300,000	460名(2013年度分)*5,000円
購読会員費	216,000	33機関36件*6,000円
賛助会員費	240,000	19社24口*10,000円
M&E誌代金	240,000	47名1機関*5,000円
大会運営費返金	300,000	
雑収入	30,000	
小計 (単年度収入分)	3,326,000	
合計 (繰越金を含む)	7,900,355	
(2) 2012年度支出の部		
項 目	予算額	備 考
会誌刊行費	1,400,000	No.1実費およびNo.2見積により減額
大会運営費	300,000	従来どおり計上
日本農学会分担金	60,000	前年度どおり
学術シンポ等補助	50,000	前年度実績なし、本年度は未定だが前年度どおり計上
M&E誌印刷・発送手数料	250,000	昨年度未払い1冊分+本年度4冊分
M&E誌共同編集・出版費	200,000	前年度どおり
公開シンポジウム・出前授業経費	30,000	公開シンポジウム(非学会員講演者2名)、出前授業経費
事務費		
事務管理費	200,000	PC更新予定
旅費交通費	200,000	前年度どおり
会議費	70,000	幹事会会議室使用料のため増額
通信郵送費	210,000	前年度どおり(評議員選挙含む)
文房具費	15,000	前年度予算比50%
諸印刷費	280,000	前年度どおり(評議員選挙含む)
雑費	50,000	前年度予算比50%
小計 (事務費)	1,025,000	
小計 (単年度支出分)	3,315,000	
予備費(次年度繰越金)	4,585,355	
合計 (予備費を含む)	7,900,355	



## 別紙 4

### 日本土壤微生物学会会則

#### 1) 名称

本学会は「日本土壤微生物学会 (Japanese Society of Soil Microbiology)」と称する。

#### 2) 目的及び構成

本学会は、土壌の微生物に関する試験研究の発達と研究者相互の協力・親睦をはかり、農業生産並びに環境保全へ寄与することを目的とする。本学会は土壌の微生物の理論及び応用に関心を有する者で構成される。

#### 3) 会員

本学会は以下の会員より成る。

正会員 本学会の趣旨に賛同して入会した者とする。

購読会員 会誌の購読を目的とする機関等とする。

賛助会員 本学会の趣旨に賛同し賛助会員費 1 口以上を納入する団体及び個人とする。

会員は本学会の主催する行事に参加し、本学会の刊行する印刷物の配布を受け、本学会の刊行する会誌へ投稿することができる。

会長経験者は、会長の要請に応じ、会務の運営に協力する。

#### 4) 役員

1. 会の運営のために次の役員をおく。

会長 1 名、副会長 1 名、評議員 20 名、事務局若干名、編集委員会(委員長及び委員若干名)、会計監査2名

2. 会長は本学会を代表し、会務を総括する。副会長は会長を補佐する。会長及び副会長は地域選出評議員により選出される。

3. 評議員会は会長の諮問に応じるとともに、会の発展のために提言を行う。評議員会は正会員より選挙により選ばれた 12 名の地域選出評議員と、出身母体、分野、年齢などを考慮して会長が指名した会長指名評議員 8 名より構成される。評議員会の互選により選出された代表評議員は評議員会の総括、意見集約を行う。

4. 事務局は本学会の実務執行機関とし、総務、会計、企画を担当する。

5. 編集委員会は会誌に投稿された論文の掲載、その他会誌に関する事項について審議する。

6. 会計監査は本学会の会計を監査する。

7. 会長は必要に応じて各種委員会を設置または廃止することができる。各委員会では、会長の指名により委員長と委員をおき、会長の諮問に応じる。

8. 役員及び委員の任期は 2 年とする。ただし、再任を妨げない。

#### 5) 総会

総会は最高決議機関とし、年 1 回開催される。

#### 6) 事業

1. 講演会及び研究発表会

2. 会誌の発行

3. 見学

4. その他

#### 7) 会費

正会員は年 5,000 円、購読会員は年 6,000 円、賛助会員は年 1 口 10,000 円以上を納入する。ただし、会長経験者は会費の納入を免除する。会費を 1 年以上滞納した会員に対しては、会誌の配布と大会及び会誌での発表を停止し、3 年以上滞納した会員は会員の資格を失う。

#### 8) 付則

1. 本学会の会計年度は 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日迄とする。

2. 会則は総会において変更することができる。

3. 昭和 59 年 5 月 10 日より施行する。

4. 昭和 61 年 5 月 17 日付則第 2 項により一部改正し、同日から施行する。
5. 平成 5 年 5 月 14 日付則第 2 項により一部改正し、同日から施行する。
6. 平成 10 年 5 月 28 日付則第 2 項により一部改正し、同日から施行する。
7. 平成 14 年 6 月 6 日付則第 2 項により一部改正し、同日から施行する。
8. 平成 16 年 6 月 3 日付則第 2 項により一部改正し、同日から施行する。
9. 平成 20 年 6 月 14 日付則第 2 項により一部改正し、同日から施行する。
10. 平成 22 年 5 月 22 日付則第 2 項により一部改正し、同日から施行する。

### **地域選出評議員選挙規約**

1. 地域選出評議員の選挙に関する事務は選挙管理委員会が、選挙規約により行う。
2. 選挙管理委員会は、総会の承認を受け組織され、役員任期満了の日の少なくとも6カ月前までに、被選挙人名簿を作成し、期日その他の必要事項を定めて公示する。
3. 被選挙人名簿に脱落または誤りがあると認められたときには、公示日から1カ月以内に選挙管理委員会に文書で異議を申し立てることができる。
4. 有権者は改選当年7月1日時点での会費を完納した正会員とする。
5. 地域選出評議員12名を正会員数に応じて各選出単位地域毎に比例配分する。なお、正会員数が変わった場合には見直す。

北海道 1名

東北-青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島 1名

南関東甲信越-埼玉, 千葉, 東京, 神奈川, 山梨, 長野, 新潟 3名

北関東-茨城, 栃木, 群馬 2名

中部-富山, 石川, 福井, 岐阜, 静岡, 愛知, 三重 2名

近畿-滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山 1名

中国四国-鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口, 徳島, 香川, 愛媛, 高知 1名

九州-福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄 1名

6. 得票数の多い順に当選とし、得票数が等しい場合には年少者が当選とする。
7. 選挙管理委員会は、当選者に文書をもって当選を通知し、諾否について問い合わせる。
8. 当選者が辞退した場合および評議員から会長、副会長が選出された場合は、次点者以下を順次繰り上げる。
9. 地域選出評議員が選出単位地域を異動しても任期期間を全うできる。欠員の補充は行わない。

### **投票要領**

1. 投票用紙を本学会指定の封筒に入れ封をし、住所氏名を明記した別の封筒に入れて、事務局に期日までに郵送、あるいは持参すること。
2. 次の投票は一部またはすべて無効とする。
  - ・所定の連記数を越えて記入されている場合は全部無効。
  - ・同一人が重複記入されている場合は1票として数える。
  - ・他の選出単位地域所属の会員氏名が記入されている場合は、その記入に限り無効。
  - ・締め切り日までに到着しなかったものはすべて無効。
  - ・投票用紙及び封筒を本学会指定以外のものを使用したもの、投票用紙に投票者の記名のあるもの、指定封筒無記名のもの、1指定封筒内に2枚以上の投票用紙が入っているものは全て無効。
  - ・投票用紙及び封筒を本学会指定以外のものを使用したもの、投票用紙に投票者の記名のあるもの、指定封筒無記名のもの、1指定封筒に2枚以上の投票用紙が入っているものはすべて無効。